

①	1秒あたりに進む距離(m)を表した速さの単位	m/s	⑩	運動している物体がもつエネルギー	うんどう 運動エネルギー
②	移動距離÷時間で求められるもの	はや 速さ	⑪	高い位置にある物体がもつエネルギー	い　ち 位置エネルギー
③	区間全体を一定の速さで移動したと考えて求めた速さ	へいぎん　はや 平均の速さ	⑫	⑩と⑪の総和	りきがくてき 力学的エネルギー
④	ごく短い時間に移動した距離をもとに求めた速さ	しゅんかん　はや 瞬間の速さ	⑬	外部からののはたらきかけがなければ、物体のもつ ⑫は一定に保たれること	りきがくてき　ほぞん　ほうそく 力学的エネルギー保存の法則
⑤	一定の速さで一直線上をまっすぐに進む運動	とうそくちよくせんうんどう 等速直線運動	⑭	物体に加えた力[N]×力の向きに移動した距離[m] で求められるもの	し　ご　と 仕事
⑥	静止していた物体が、重力によって水平面に対して 垂直に落ちる運動	じ　ゆう　う　ら　っ　か 自由落下	⑮	⑭の単位	J（ジュール）
⑦	複数の力が1つの物体にはたらくとき、それらの力を 合わせて同じはたらきをする1つの力を求めること	ちから　ごうせい 力の合成	⑯	動滑車を使って物体を持ち上げると、 使わない場合と比べて力の大きさはどうなるか	ばい 2倍になる
⑧	複数の力と同じはたらきをする1つの力	ごうりよく 合力	⑰	動滑車を使って物体を持ち上げると、 使わない場合と比べて力の向きに動かす距離はどうなるか	はんぶん 半分になる
⑨	1つの力を、それと同じはたらきをする 複数の力に分けること	ちから　ぶんかい 力の分解	⑱	同じ仕事をするとき、道具を使っても使わなくても ⑰の大きさは変わらないこと	し　ご　と　　げんり 仕事の原理
⑩	1つの力を分けた複数の力	ぶんりよく 分力	⑲	1秒あたりにする⑰	し　ご　と　り　つ 仕事率
⑪	物体に力がはたらいていない(または力がつり合っている)とき、静止して いる物体は静止し続け、運動している物体は⑤を続けるという法則	かんせい　ほうそく 慣性の法則	⑳	⑲の単位	W（ワット）
⑫	物体がもとの運動状態を保とうとする性質	かんせい 慣性	㉑	エネルギーの変換の前後で、 エネルギーの総量は変わらないこと	ほ　ぞ　ん エネルギーの保存
⑬	物体が別の物体に力を加えると、同時に相手の物体から、 大きさが同じで逆向きの力を受けるという法則	き　よう　　はん　き　よう　　ほうそく 作用・反作用の法則	㉒	固体の物質の一部を熱したとき、あたためられた 物質そのものが移動して全体に熱が伝わる現象	でんどう 伝導
⑭	水中でまわりの水から受ける圧力	すいあつ 水圧	㉓	気体や液体を熱したとき、あたためられた物質そのものが 移動して、全体に熱が伝わる現象	たいりゅう 対流
⑮	水中にある物体にはたらく、上向きの力	ぶりよく 浮力	㉔	熱源から空間をへだてて、はなれたところまで 熱が伝わる現象	ほうしゃ 放射